

# いちだがわ 市田川流域の浸水対策

- 熊野川と市田川のピーク水位が重なったこと等により、市田川の著しい水位上昇が生じ、これに伴い市街地の排水不良等が生じ浸水被害が発生。このため、国、県、市が連携して本川と市田川の水位低下を図るとともに、市街地からの排水の促進を図る
- 概ね5年で本川掘削(国)、ポンプ増強(国11m<sup>3</sup>/s・県1.2m<sup>3</sup>/s・市2.49m<sup>3</sup>/s)、都市下水路改修(市)を実施することで浸水戸数の半減及び主要幹線道路の浸水を解消する。合わせて、雨水貯留施設整備(市)、タイムラインなどの対策を行うことで一層の被害軽減を図る。長期的には今次洪水による浸水を解消するために、さらなるポンプ増強(市9.5m<sup>3</sup>/s)を行う。

- 平成29年10月台風21号により、総雨量893.5mmに及ぶ大雨により、新宮市が大規模に浸水



【市田川(出水時)】



家屋等の被害状況  
(平成30年7月10日時点:新宮市調べ) 単位:棟

市田川流域	床上	床下
	615	509



- H29T21 浸水範囲 (浸水家屋数1,124戸)
- Ⓟ 国ポンプ箇所
- 新宮市ポンプ箇所
- 和歌山県ポンプ箇所

## 主な浸水被害軽減のメニュー

事業主体	短期計画	長期計画
国交省	本川掘削、ポンプ増強 11m <sup>3</sup> /s(合計 28.1m <sup>3</sup> /s)	—
和歌山県	ポンプ増強 1.2m <sup>3</sup> /s(合計 11.2m <sup>3</sup> /s)	—
新宮市	ポンプ増強 2.49m <sup>3</sup> /s(合計 5.3m <sup>3</sup> /s)、都市下水路改修	ポンプ増強 9.5m <sup>3</sup> /s(合計 14.8m <sup>3</sup> /s)
雨水貯留施設、タイムラインの確実な運用 等		